第1号様式

年度　校内研修年間指導計画書

学 校 名　　学校

※ 指導職員氏名　　研修参加者氏名

回	月／日（曜）	指導担当者						領域	主な指導方法	研修時間	主 な 研 修 内 容
		校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導職員	他の教員				

注１　校内研修は１２日間、２４時間以上で計画を立てること。
　　※ただし、新規採用栄養教諭は、１６日間、３０時間以上で計画を立てること。
２　領域の欄には栄養教諭の資質向上に関する指標に基づき以下のＡからＦに分けて記入する。
　A「教職に必要な素養」　B「専門領域に関する資質能力」
　C「生徒指導に関する実践的指導力」　D「チーム学校を支える資質能力」
　E「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」　F「ＩＣＴや情報・教育データの利活用」
※校外研修にない構成要素については、校内研修で実施すること。
３　主な研修内容で、Bに係る内容は「専門領域に関する資質能力」参考事例に従って記入する。
４　主な指導方法の欄には、「講話」「講義」「協議」「授業研究」「実習」等の区分を記入する。
５　他の教員の欄には教務主任（教主）給食主任（給主）などを記入する。
６　新規採用栄養教諭については、※印の欄に指導栄養教諭または指導学校栄養職員氏名を記入する。

第1号様式（作成例）

年度　校内研修年間指導計画書

学 校 名　　学校

※ 指導職員氏名　　研修参加者氏名

回	月／日（曜）	指導担当者						領域	主な指導方法	研修時間 24	主 な 研 修 内 容
		校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導職員	他の教員				
1		○						A	講義	1	○今日的教育課題と教育目標について
					○			D	講義	1	○教育課程の編成・実施・評価 ○教育課程と健康教育
2				○				D	実習	2	○食に関する指導全体指導計画の作成
3			○					B	実習	2	○調理工程表、作業動線図、タイムスケジュール等作成、検討
4				○				D	講義	1	○地域、PTAとの連携について
				○				D	授業研究	1	○実際の授業の進め方（○○科授業参観）
5							教主	C	講義	1	○学校における教育相談活動のあり方
							給主	B	実習	1	○食に関する個別指導実施のための資料づくり
6			○					B	講義 実習	2	○学校給食における地場産物活用の組織作り
7							給主	B	講義	1	○食に関する指導と評価の活用について
						○		B	講義	1	○指導案作成のあり方とその活用
8							担任	B	実習	2	○食生活調査、嗜好調査の分析、活用
9					○			F D	実習	2	○食の安全確保に関する効果的な情報収集・提供方法 ○家庭・地域への効果的な情報発信について
10						○		B	実習	2	○児童（生徒）の実態にあった栄養所要量の作成
11				○	○			B	実習	2	○食に関する指導案の作成
12		○						B	授業研究	1	○食に関する指導の授業実践
		○						B	研究協議	1	○食に関する指導の授業の協議

注１　校内研修は１２日間、２４時間以上で計画を立てること。
　　<u>※ただし、新規採用栄養教諭は、１６日間、３０時間以上で計画を立てること。</u>
２　領域の欄には栄養教諭の資質向上に関する指標に基づき以下のＡからＦに分けて記入する。
　A「教職に必要な素養」　B「専門領域に関する資質能力」
　C「生徒指導に関する実践的指導力」　D「チーム学校を支える資質能力」
　E「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」　F「ＩＣＴや情報・教育データの利活用」
※校外研修にない構成要素については、校内研修で実施すること。
３　主な研修内容で、Bに係る内容は「専門領域に関する資質能力」参考事例に従って記入する。
４　主な指導方法の欄には、「講話」「講義」「協議」「授業研究」「実習」等の区分を記入する。
５　他の教員の欄には教務主任（教主）給食主任（給主）などを記入する。
６　新規採用栄養教諭については、※印の欄に指導栄養教諭または指導学校栄養職員氏名を記入する。

栄養教諭初任者研修

第2号様式

年度　校内研修年間指導報告書

学 校 名　　学校

※ 指導職員氏名　　研修参加者氏名

回	月／日（曜）	指導担当者						領域	主な指導方法	研修時間	主な研修内容	感想　改善点 よかった点　意見等
		校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導職員	他の教員					

注１　領域の欄には栄養教諭の資質向上に関する指標に基づき以下のＡからＦに分けて記入する。
A「教職に必要な素養」　B「専門領域に関する資質能力」
C「生徒指導に関する実践的指導力」　D「チーム学校を支える資質能力」
E「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」　F「ＩＣＴや情報・教育データの利活用」

※校外研修にない構成要素については、校内研修で実施すること。

２　主な研修内容で、Bに係る内容は「専門領域に関する資質能力」参考事例に従って記入する。

３　主な指導方法の欄には、「講話」「講義」「協議」「授業研究」「実習」等の区分を記入する。

４　新規採用栄養教諭については、※印の欄に指導栄養教諭または指導学校栄養職員氏名を記入する。